

冬休みイラストに決めます。

冬休み web 限定 令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

『アソビスタンド』は19歳の時に  
目撃したことも  
読書日より 番外編3 よかったです。

# おやすみもりもり書店

R03.01.05(火)  
「自分のしあわせを  
信じてみる。」

★今回、紹介する本は、『コロナと潜水服』（著/奥田英朗、出版/光文社）です。

冬休み最後の「番外編」ということで、今回は、ファンタジックで心温まる短編集を紹介（新年早々、「コロナ」という単語を使いたくなかったのですが、仕方なく…）。

表題作『コロナと潜水服』は、新型コロナウイルスを感知できる不思議な能力をもった5歳の男の子と父親の話。

他の短編も、購入した中古車に乗るとナビが不思議な場所を案内し始めたり…、ある理由で家族から離れて古民家で暮らし始めた小説家が不思議な出来事に出会ったり…、いずれも、「非日常」を描きながらも、優しい気持ちにさせられる物語ばかり…。  
五つの短編が入っていますが、どれも読みやすいです。新年のスタートに、ぜひ。



この短編は、コロナ禍で暮らしたものです。

だから人類は滅びない。★

霊長類ヒト科は強いよ。(p.208)

逃げなかったことが、

これほど自信に

なるとは思わなかった。(p.103)

HOPE

しあわせを見つけた。★

「非日常」の中で、  
自分自身を見つめる過程がとてもよいです。

心温まる  
世にも珍らしい  
4コマ

のせいで  
近いかも  
しれません。

